

♡子どもに寄り添った子育てを♡ ～体罰等によらない子育てを広げよう～



子どもへの体罰は法律で禁止されています。体罰等によらない子育てを推進するため、保護者に対する支援も含めて社会全体で取り組んでいきましょう！

なぜ体罰はいけないの？

体罰等が繰り返されると、子どもの心身の成長・発達にさまざまな悪影響が生じる可能性があることは、科学的にも明らかになっています。

しつけと体罰はどう違うの？

しつけとは、子どもの人格や才能などを伸ばし、自律した生活を送れるようにサポートしていくことです。そのためには、体罰ではなく、どうすればいいかを言葉や見本を示すなど、本人が理解できる方法で伝える必要があります。

こんなことをしていませんか？

- 言葉で3回注意したが、言うことを聞かないので、頬を叩いた。
- いたずらをしたので、子どもを家の外に出した。
- 他人のものを取ったので、お尻を叩いた。
- 宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった。

これらは全て
「体罰」にあたります。



体罰等によらない子育てのための工夫のポイント！



POINT

子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう

- 相手に自分の気持ちや考えを受け止めてもらえたという経験によって、子どもは気持ちが落ち着いたと感じたりします。
- 子どもに問いかけをしたり相談をしたりしながら、どうしたらよいかを一緒に考えましょう。



POINT

肯定文でわかりやすく、時には一緒に、お手本に

- 子どもには、「ここでは歩いてね」など、肯定文で何をすべきかを具体的に、また、穏やかに、近づいて、落ち着いた声で話すと伝わりやすくなります。
- 「一緒におもちゃを片付けよう」と一緒にやり方を示したり教えたりすることも良いでしょう。



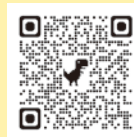
POINT

良いこと、できていることを具体的に褒めましょう

- 子どもの良い態度や行動を褒めることは、子どもにとって嬉しいだけでなく、自己肯定感を育むことにもなります。
- 結果だけではなく、頑張りを認めることや、今できることに注目して褒めることも大切です。

詳しくは、こども家庭庁の「体罰等によらない子育てのために～みんなで育児を支える社会に～」ホームページをご覧ください。

こども家庭庁ホームページ➡



「そうは言っても…」思いどおりにならないのが子育て

子育ては、いろいろな人の力と共に

- ◎ 子育てを頑張ることは、楽しみでもあります。とても大変なことです。周囲の親族や地域住民、子育て支援者、保健・医療・福祉・教育現場等で保護者に接する方は、保護者が孤立しないようサポートしていくことが大切です。
- ◎ 子育ての大変さを保護者だけで抱えるのではなく少しでも困ったことがあれば、お気軽にご相談ください。地域で支えあい、大切な子どもを地域全体で守っていきましょう！！



問合せ こども・子育て応援課 ☎ 0778-47-8018